

図書館オンラインシステムの更新について

1 更新の概要

令和3年1月に導入した図書館オンラインシステムが5年間の契約期間を満了し、令和8年1月に全面更新を実施した。今回の更新では、機器の刷新に加え、利用者がより使いやすくなるようソフト面の機能改善も行った。

2 主な変更点（利用者向け）

（1）バーコード表示機能の追加

利用者カードを忘れた場合でも、スマートフォンにカード番号を表示して貸出が可能になった。

（2）新着図書メール通知機能

興味のあるジャンルや著者の新着資料を、メールで受け取れるようになった。

（3）返却期限メール通知機能

返却期限が近づいた資料について、メールでお知らせできるようになった。

（4）図書館ホームページの視認性向上

お知らせの種類ごとに色分けするなど、情報が見やすく整理された。

（5）セルフ貸出機の操作工程を削減

操作時間が短縮され、よりスムーズに貸出ができるようになった。

3 主な変更点（職員・運用面）

（1）UDフォントの採用

画面の視認性が向上し、利用者・職員双方にとって読みやすくなった。

（2）図書館ホームページのCMS管理化

職員がより簡単に更新できるようになり、情報発信の迅速化が期待できる。

（3）トラブル対応の明確化

サポート体制が改善され、障害発生時の対応がよりスムーズになった。

4 更新に伴う準備・対応

- ・蔵書データおよび利用者情報の移行
- ・利用者への周知（館内掲示、ホームページ、広報誌、市公式LINE等）
- ・蔵書点検の実施 ・職員研修の実施
- ・機器更新及び蔵書点検による休館（令和7年12月19日から令和8年1月5日）

5 期待される効果

セルフ貸出機の操作時間短縮により、より快適に資料を借りられるようになる
図書館からの情報発信力が強化される
システムの長期的な安定運用ができ、将来的なサービス拡張にも対応可能